

ユニバーサルデザインやインクルーシブ（共生社会）などと言われるようになってから、ずいぶん時間が経ちました。言葉だけはなんとなく聞いたことがあるけど、実際にはどうということなんだろう、とまだまだ戸惑うこともあるかもしれません。今回はこういったことの基本となる考え方について、少し触れていきたいと思えます。

私たちの周りには、メガネやコンタクトレンズを使って視力矯正をして生活をしている方たちが大勢います。同じように足腰の弱さを感じる方が、杖や支えとなるようなものを使って生活している場面にも多く出会います。これはほんの一例ですが、私たちの周りには、様々な形の「補いツール」を使って生活している方がたくさんいます。目が

なんの平等？



スクールサポーター
(臨床心理士)
小林 真理

こころの
コラボレーション

悪いから、足腰が悪いから、という理由は見た目でもわかることですし、そうした補いツールを使うことに違和感はないでしょう。

「補いツール」というと、町内の小中学校では、読み書きの苦手がある子どもの中には、タブレットを使っている子ども達もいます。どうやって使っているかと言つと、「読み」の場合は、目で文字や文章を追うと意味理解ができない場合に、タブレットに入っている教科書（授業で使っているものと同じもの）を音声で流して聞いて内容を理解したり、プリントを写真で撮つて、その内容を音声で読み上げて内容を理解するといったようなことです。また「書き」の場合は、漢字そのものは覚えていないものを書く際になると、漢字として形が取れない（書けない、書いても判読できない）という子どもは、タブレットにタッチ入力したり、音声入力をしながら、「書く」力の弱さを補っています。

一人ひとりにあった支援をしていくうえでは、ここにある例はメガネや杖の例よりも、さらにほんの一例に過ぎません。教室における「補いツール」は、「それを使ってできるようになるなら、使うのは当然でしょう」といったような認知はまだないかもしれません。しかし、自分の弱さを知って（＝自己理解）、補いツールを使っている子ども達は、それまで避けていた学習へのやる気を取り戻し、自ら課題に向かつていく姿を見せるようになります。そして最初は不器用ながらも、自分の力と「補いツール」でみんなと同じ課題を達成していくようになっていきます。

さて、そんな時に「あの子だけタブレット使ってるだけ」という考えにはなるでしょうか。タブレットを必要としている側が、「みんなにどう思われているか心配だから使わない」というような雰囲気にはしていません。

結果の平等を求めるとなれば、まずは機会の平等からです。弱さ、苦手さ、できないことを認めて「補いツール」を使うことは、メガネや杖を使って「補う」ということで、読み書きに苦手のある子どもが「同じ課題」に取り組むためのものなのです。

いろんな「補いツール」があることを知り、何が平等なのかを考えてみながら、今年1年を振り返ってみるのもいいかもしれません。

『子育て』を応援してください



●臨時職員募集

職 種	保育士
資 格	65歳以下で保育士の資格を有する方
採用期間	平成30年3月31日(出) (さらに6か月更新可)
勤 務	7時30分～19時まで シフト制
休 日	週休2日(休日出勤あり) 年末年始
給 与	日額 8,050円
待 遇	通勤費支給(規定有) 社会保険加入

●パート・登録保育士募集

時 給	1,000円 (7時30分～8時30分までおよび、 16時30分～19時まで100円上乘せ)
資 格	65歳以下で保育士の資格を有する方
採用期間	平成30年3月31日(出)まで (さらに6か月更新可)

【問い合わせ】 こども教育課 児童係 ☎45-8672

子育て支援センター「るるる」
外構工事終了しました

子育て支援センター「るるる」は、園庭の幼児用遊具の設置やフェンス・駐車場等の整備を行いました。遊びのスペースと駐車スペースを分け、小さなお子さんと一緒に安心して利用できます。

また、室内では、お子さんを遊ばせながら子育てに関する情報交換や親子同士の交流、専門スタッフ（保育士・保健師・助産師）に子育て等の相談ができます。気軽に外出かけください。

【利用できる方】

町内に住所がある未就学児とその保護者(里帰り中の方)

【利用時間】

月曜日から土曜日まで
9時30分から16時まで

【休館日】

日曜日・祝日・年末年始
(12月28日から1月4日まで)

【住所】

軽井沢町大字長倉28593



【問い合わせ】

こども教育課 子育て支援係
☎45-5744